

第2章 「栃木市の宝」の概要

1. 指定等の「栃木市の宝」

令和8(2026)年3月31日現在、文化財保護法・栃木県文化財保護条例・栃木市文化財保護条例で指定・登録された「栃木市の宝」は297件です。その内訳は国指定7件、国選定1件、県指定38件、市指定197件、国登録54件です。文化財の保存技術に選定されているものはありません。また、国の記録選択に選択されているものもありません。

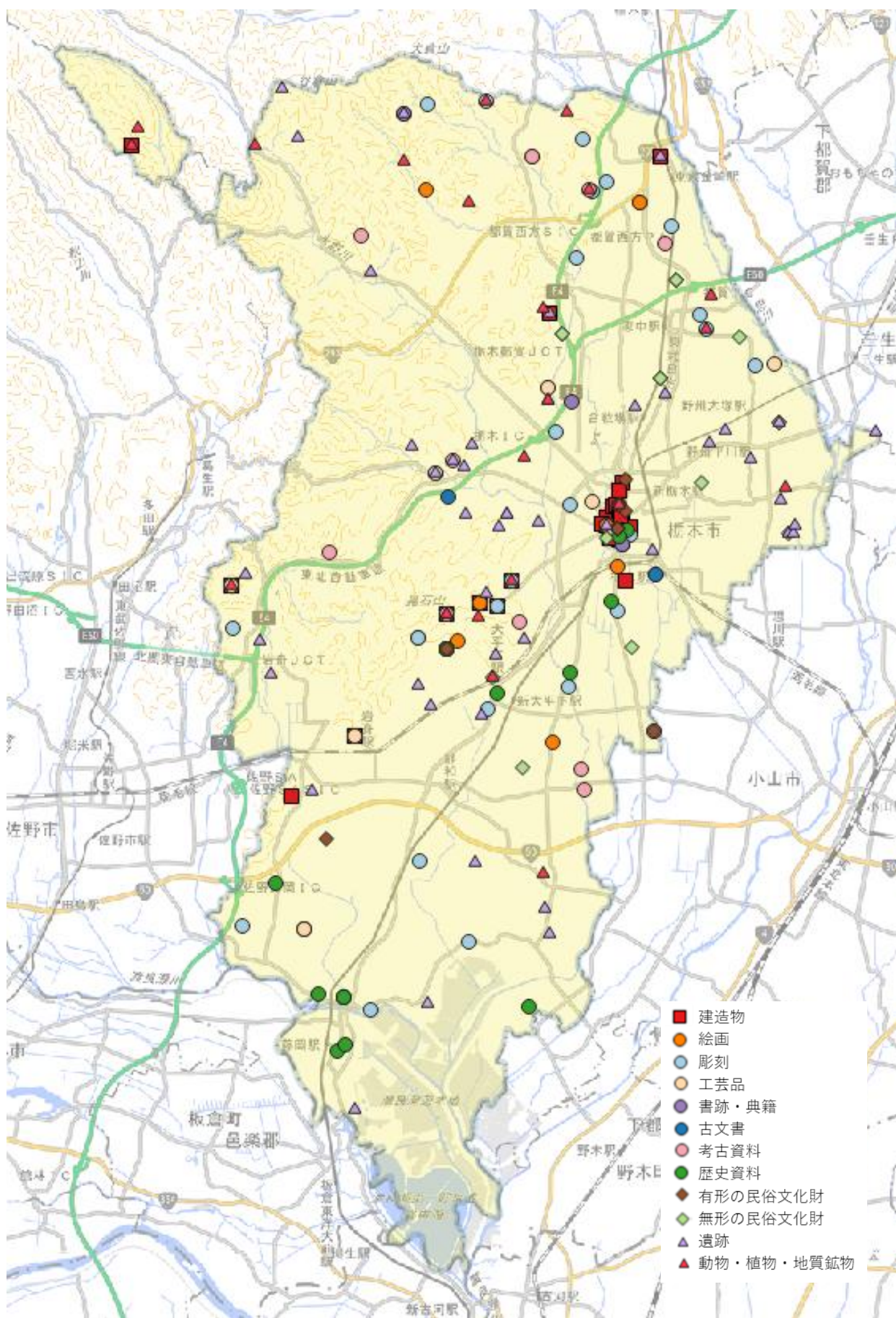
令和8(2026)年3月31日現在、国選定の重要伝統的建造物群保存地区「栃木市嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区」の伝統的建造物の建築物や工作物、環境物件として特定しているもの(以下、特定物件)は146件(うち、指定等文化財は17件)です。

指定等の「栃木市の宝」の件数

令和8(2026)年3月31日現在

類型			国指定・選定	国選択	県指定・選定	県選択	市指定	国登録	合計
有形文化財	建造物		1	—	6	—	21	54	82
	美術工芸品	絵画	0	—	7	—	12	0	19
		彫刻	1	—	10	—	32	0	43
		工芸品	0	—	6	—	8	0	14
		書跡・典籍	0	—	1	—	4	0	5
		古文書	0	—	0	—	2	0	2
		考古資料	2	—	0	—	16	0	18
		歴史資料	0	—	4	—	16	0	20
無形文化財		0	0	0	—	0	0	0	
民俗文化財	有形の民俗文化財		0	—	1	—	10	0	11
	無形の民俗文化財		0	0	1	0	13	0	14
記念物	遺跡		3	—	2	—	41	0	46
	名勝地		0	—	0	—	0	0	0
	動物・植物・地質鉱物		0	—	0	—	22	0	22
文化的景観			0	—	—	—	—	—	0
伝統的建造物群			1	—	0	—	—	—	1
合計			8	0	38	0	197	54	297

0:該当なし、—:制度なし



国土地理院地図より作成

指定等の「栃木市の宝」の分布図

2. 未指定の「栃木市の宝」

令和8(2026)年3月31日現在で把握している本市の未指定の「栃木市の宝」は、9,288件です。
文化財保護法の類型に当てはまらないものはその他の文化財としています。

把握している未指定の「栃木市の宝」のうち、建造物、歴史資料、有形の民俗文化財、遺跡、埋蔵文化財の件数が多く、書跡・典籍、考古資料、無形文化財、名勝地、動植物・地質鉱物、文化的景観、文化財の保存技術が少ない状況です。

地域別にみると、栃木地域と藤岡地域を合わせて全体の7割を占めています。

未指定の「栃木市の宝」の件数

令和8(2026)年3月31日現在

類型		栃木 地域	大平 地域	藤岡 地域	都賀 地域	西方 地域	岩舟 地域	合計
有形文化財	建造物	401	61	150	64	55	42	773
	美術 工芸品	絵画	379	24	16	10	19	461
		彫刻	57	20	44	15	3	148
		工芸品	73	3	82	0	12	176
		書跡・典籍	10	0	1	0	0	11
		古文書	19	21	95	96	31	273
		考古資料	1	0	1	2	1	5
		歴史資料	476	14	405	11	12	926
	石造物	241	0	125	0	0	5	371
無形文化財		0	0	0	0	0	0	0
民俗文化財	有形の民俗文化財	2,171	501	637	263	7	204	3,782
	無形の民俗文化財	286	43	127	48	23	40	567
記念物	遺跡	148	24	273	75	82	36	638
	名勝地	2	0	2	0	0	0	4
	動物・植物・地質鉱物	2	2	2	0	1	0	7
文化的景観		3	3	4	1	1	1	10
伝統的建造物群		0	0	0	0	0	0	0
文化財の保存技術		4	0	0	0	0	0	4
埋蔵文化財		370	157	168	83	68	189	1,026
その他の文化財（史話・伝承、地名など）		32	24	4	18	10	18	106
合計		4,675	897	2,136	686	325	583	9,288

※地域別の数字はいくつかの「栃木市の宝」が複数の地域でかぶるものがあるため、合計の数字と一致しません。

3. 類型ごとの概要と特徴

(1)有形文化財

①建造物

国指定の建造物は「村檜神社本殿」1件で、檜皮葺屋根、彫刻による装飾など構造・彫刻いずれも室町時代後期の傑作として県内でも有数の建造物です。

県指定の建造物は岩舟地域の古刹に集中しており、「大慈寺相輪櫓」、「高勝寺山門」、「高勝寺三重塔」、「高勝寺鐘楼」があります。その他、栃木地域の「満願寺本堂（大御堂）」、「古久磯提灯店見世蔵」で合わせて6件あります。

市指定の建造物は、神社・寺院の本殿、拝殿、山門が多いですが、「善野家土蔵」などの土蔵造の建物や「旧栃木町役場庁舎」などの近代建築が、合わせて21件あります。

国登録は54件全てが栃木地域にある建造物です。江戸時代末から明治にかけて栄えた商家の見世蔵や土蔵が多く残ります。

未指定の建造物は、773件把握しており、神社、寺院、門、蔵、近代建築、古民家、五輪塔などがありますが、特に栃木地域に401件と集中しています。古民家は大平地域の白石家戸長屋敷や藤岡地域にあることを把握しています。



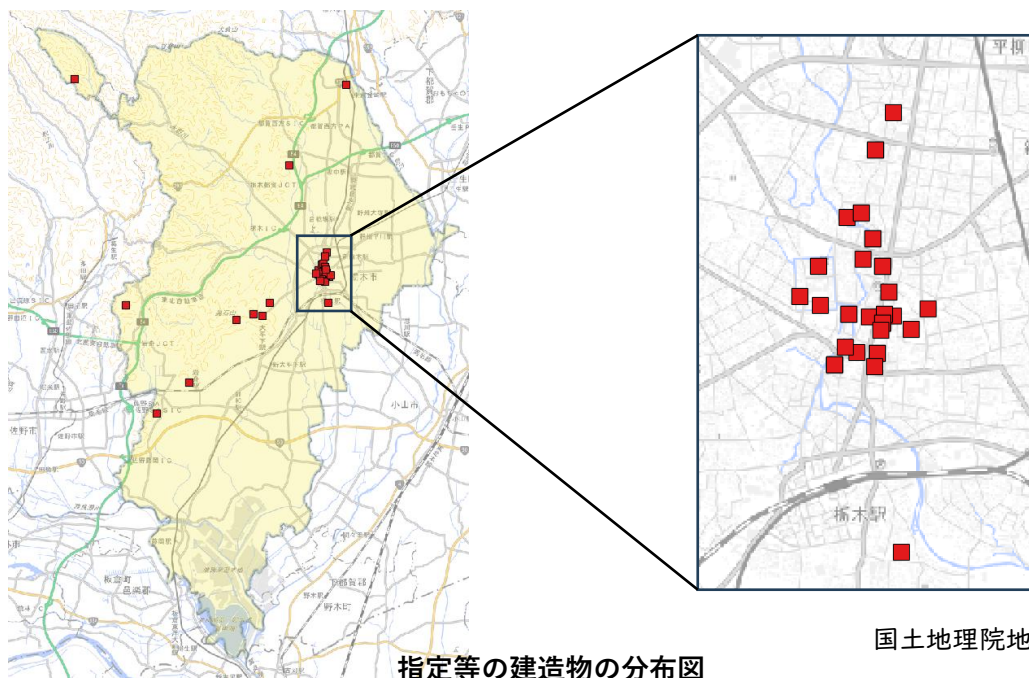
村檜神社本殿



古久磯提灯店見世蔵



栃木病院



②美術工芸品

【絵画】

県指定の絵画は小泉斐の「絹本着色^{こいずみあやる} 秋山^{けんぼんちやくしよくあゆず} 覓句^{こすぎほうあん}図^{しほんぼくがかんざんじつとくず}」、小杉放菴の「紙本墨画寒山拾得図」など県ゆかりの作家の作品が7件あります。

市指定の絵画は田崎早雲の「絹本著色秋山^{たざきそうん} 覓句^{けんぼんちやくしよくしゅうざん}図^{べきくず}」、清水登之の「大麻^{しみずとし} 収穫^との絵」など本市ゆかりの作家の作品が多く12件あります。

未指定の絵画は、461件把握しています。その多くは絵馬で、全地域の神社、寺院に奉納されていますが、太平山神社の絵馬だけで、294件把握しています。

【彫刻】

国指定の彫刻は鎌倉時代の「鉄造^{てつぞう}薬師如来坐像^{やくしにょらいざぞう}」1件です。県内でも事例が少なく、西方地域の地元住人により今日まで守り伝えられてきました。

県指定の彫刻は、平安末期に玉眼^{ぎよくがん}を用いられたものとして注目される住林寺の「木造阿弥陀如来坐像^{じゅうりんじ もくぞう あみだにょらいざぞう}」をはじめ、同時代につくられた牛来寺の「木造薬師如来坐像^{もくぞうやくしにょらいざぞう}」、鎌倉時代につくられた清水寺の「木造十一面^{せいすいじ もくぞうじゅういちめん} 千手観世音菩薩立像^{せんじゅかんぜおんぼさつりゅうぞう}」などが伝えられているほか、地元の大工である内木市兵衛^{ないきいちべい}の制作と伝えられる江戸時代の「木造金剛力士立像^{もくぞうこんごうりきしりゅうぞう}」など合わせて10件あります。



鉄造薬師如来坐像

市指定の彫刻は「童形聖徳太子像^{どうぎょうしょうとくたいしぞう}」、「列國志像^{れつこくしぞう}」、「双龍像^{そうりゅうぞう}」、「福正寺向拝彫刻^{ふくしょうじごはいちようこく}」など合わせて32件あり、大平地域で江戸時代から明治時代にかけて活躍した磯辺一族が制作した木彫が多くあります。

未指定の彫刻も、磯辺一族の木彫を多く把握しています。

【工芸品】

県指定は「刀 銘 甲陽士武井信正」、大中寺「銅鐘」、戦時下に供出から奇跡的に戻った東善光寺「梵鐘」など6件あります。

市指定の「皆川広照着用具足^{みながわひろてるちやくようぐ そく}」は栃木地域を領有していた戦国時代の武将、広照が着用したといわれています。その他、戦時下に供出を免れた旭町定願寺の「平等庵の鐘^{じょうがんじ びやうどうあん}」や岩船山高勝寺の「燈籠^{とうろう}」など8件あります。

未指定の工芸品は、栃木地域の神社、藤岡地域の神社にある燈籠や西方地域の和銃^{わじゅう}を把握しています。



東善光寺「梵鐘」

【書跡・典籍】

県指定の「軍装軍役掟書^{ぐんそうぐんえきおきてがき}」が1件あり、市指定の「皆川廣勝官途状(写)^{みながわひろかつかんとじょう}」などの書状や定願寺「不動堂の扁額^{ふどうどう へんがく}」など合わせて4件あります。

未指定の書跡・典籍は、栃木地域の神社に奉納されている扁額など11件を把握しています。

【古文書】

市指定の「徳川家康書状」、「^{てんかい}天海書状」があります。

未指定の古文書は全地域に渡り 273 件を把握しており、旧家や寺院に伝わる文書群が多く残っています。

【考古資料】

国指定は「栃木県藤岡神社遺跡出土遺物」と「下野七廻り鏡塚古墳出土品」の2件があります。前者は土製品・石製品併せて 1,244 件が一括指定で、土偶、動物形土製品、装飾品など当時の祭礼に関するものが多くあります。後者は舟形木棺や大刀・弓・馬具などの副葬品で、当時の有力者の存在を示すものです。

市指定は「山王寺大柁塚古墳出土遺物一括資料」、「^{まさかどれいじんづか}下皆川将門霊神塚古墳出土遺物」、「^{おのすね}小野巢根古墳群出土遺物」、「踊る埴輪」等古墳から出土したものが多く、全部で 16 件あります。

未指定の考古資料は、下野国府跡出土品、^{にしかたやま}西方山古墳群出土品、^{せきぼう}石棒など5件を把握しています。



藤岡神社遺跡出土品



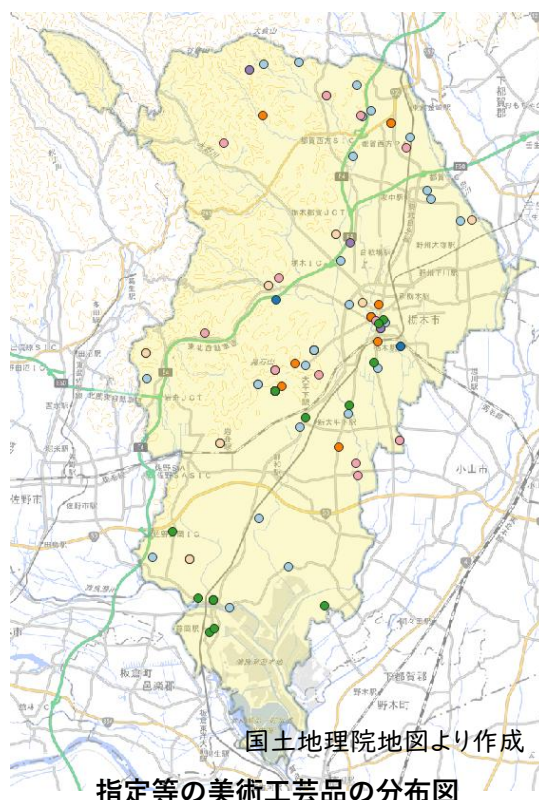
七廻り鏡塚古墳出土
「舟形木棺」

【歴史資料】

県指定の歴史資料は「^{ぼくせき}田中正造墨跡」3件、「田中正造遺品」1件があります。田中正造は渡良瀬遊水地をつくるときに廃村となった谷中村を守るための運動をするなど、本市とも縁が深い人物です。

市指定は、谷中村にあった「旧延命院所蔵釣鐘」や西方地域に縁のある「^{つりがね}西方綱吉官途状」、「^{ふじたのぶよし}藤田信吉知行宛行状」の書状、日光例幣使道に関する「^{とくがわ}徳川なりあきふくるとしよにめんつい はこがきつき 齊昭袋戸書(二面対)箱書付」、近現代の道に関する「^{どうろげんびょう}栃木町道路元標」など 16 件あります。

未指定の歴史資料は、道標、板碑、記念碑など栃木地域と藤岡地域の神社や寺院の境内、道沿いなどに多いことを把握しています。その他、幕末から明治時代の絵図があります。これらを合わせて 926 件把握しています。



③石造物

建造物、民間信仰としての有形の民俗文化財、歴史資料に分類できない石造物として石列・石敷・石段・記念供養塔・標柱・社標・幟立柱など371件あります。全て未指定です。

(2)無形文化財

指定等の無形文化財はありません。未指定の無形文化財も把握していません。

(3)民俗文化財

①有形の民俗文化財

県指定は「とちぎの山車」があります。万町一丁目、万町二丁目、万町三丁目と倭町二丁目、倭町三丁目、室町が1台ずつ保有し、全部で6台の山車は全て江戸型山車で、江戸時代の終わりに明治時代にかけて制作されました。

市指定は「大町の山車」、「泉町の山車」、「嘉右衛門町の山車」、「倭町一丁目の獅子頭」があり、県指定の山車と併せて10台が2年に1回開催するとちぎ秋まつりの主役として巡行します。

その他、市指定の「上新田文挾流獅子舞の用具一式」と「升塚文挾流獅子舞の用具一式」があり、どちらも都賀地域に伝えられてきたものです。

未指定の有形の民俗文化財は、庚申塔、十九夜塔、地藏尊、馬力神などの民間信仰に関する石造物が全地域に多くあることを把握しています。また、本市の生業の営みに関わる、麻の生産道具、沼と川の漁撈道具、岩舟石の採掘道具があります。その他栃木地域と都賀地域で神輿を把握しています。

②無形の民俗文化財

県指定は都賀地域に伝わる「木の杖術」の1件です。江戸時代に日光の地固めの奉納として始まったといわれ、現在隔年で地元の木八幡宮に奉納しています。

市指定は「大神神社の神楽」、「横堀の太々神楽」、「鷺宮太々神楽」、「関白流獅子舞」、「升塚文挾小流獅子舞」などの神楽・獅子舞のほか、湊町の「百八灯流し」、田村町の「宮野辺神社の祭儀習俗」など13件あります。

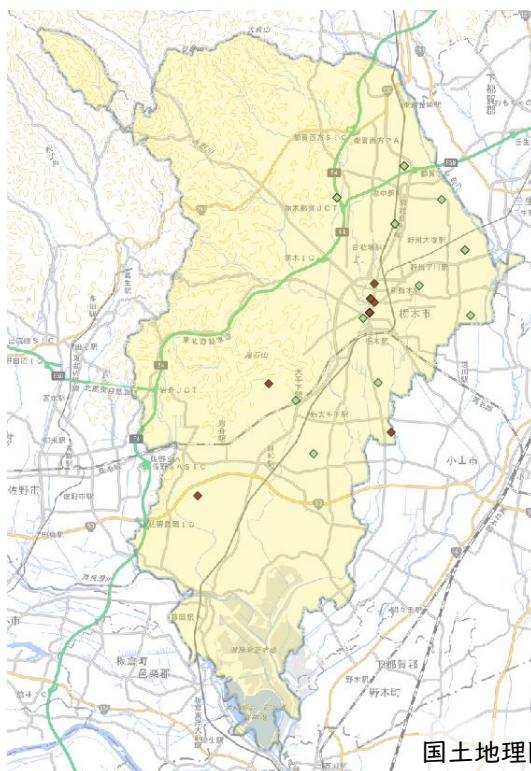
未指定の無形の民俗文化財は、季節の年中行事など全地域にあることを把握しており、栃木地域の神社の祭礼、藤岡地域の神社の祭礼や各地域の祭礼に伴う行事食、郷土芸能等を把握しています。また、蓴作りの技術、ヨシズ編みの技術、提灯作りの技術、三毳焼の技術などの民俗技術を把握しています。提灯と三毳焼は、藤岡地域の「新波の提灯」、岩舟地域の「みかも焼」という名で栃木県指定伝統工芸品として有名です。



木の杖術



百八灯流し



国土地理院地図より作成

指定等の民俗文化財の分布図

(4)記念物

①遺跡

国指定は栃木地域に県内最大で全長 127.85mの前方後円墳「吾妻古墳」があり、隣接自治体の壬生町にまたがって所在しています。また、同地域田村町に国指定「下野国庁跡」があります。昭和 54（1979）年の発掘調査で、奈良・平安時代の下野国の役所の跡と明らかになりました。史跡公園として整備され、復元した前殿などを見学できます。

県指定は、「^{つけたりそうきよ}県庁堀附漕渠」があります。明治4（1871）年から 17（1884）年に栃木町に県庁が設置された際に、敷地周囲に巡らされた堀と、巴波川から県庁に直接舟が到着できるように作られた漕渠がほぼ当時のまま残っています。

市指定は、「荒宿 B 古墳群」、「下皆川将門霊神塚古墳」、「伯仲第一号古墳」などの古墳が栃木・大平・藤岡地域に残っています。その他「星野遺跡」、「篠山貝塚」などの旧石器、縄文時代の遺跡や「皆川城址」など中世の遺跡など合わせて 41 件あります。

未指定の遺跡は、638 件把握しているうちの多くが神社と寺院で、全地域にあります。その他、日光例幣使道に関する宿跡・^{しゆくあと き ど あと}木戸跡・陣屋跡や舟運に関する河岸跡、人車鉄道跡などを把握しています。



下野国庁跡前殿（復元）



伯仲第一号古墳

②名勝地

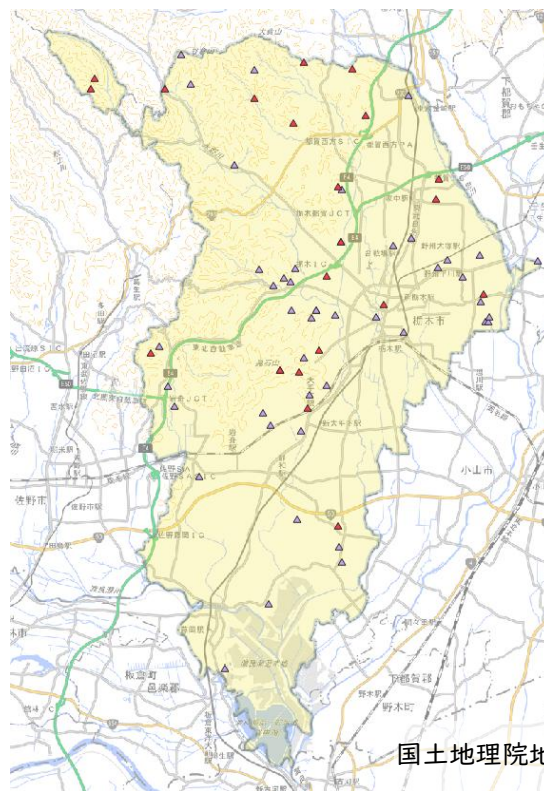
指定等の名勝地はありません。

未指定の名勝地は、藤岡地域のみかも山公園・弁天池と栃木市嘉右衛門町重要伝統的建造物群保存地区にある庭園2件の併せて4件を把握しています。

③動物・植物・地質鉱物

市指定の植物が22件あります。^{けやき}櫟、^{しだれ桜}しだれ桜、イチヨウ等の樹木が多く、そのほかに、栃木地域の「出流自然林」や岩舟地域の「^{しゃそう}村檜神社社叢」があります。

未指定の植物は、大平地域にあるモチノキや西方地域にある真名子ナツツバキなど樹木を7件把握しています。動物・地質鉱物は把握できていません。



国土地理院地図より作成

指定等の記念物の分布図

(5)文化的景観

国の選定を受けた文化的景観はありません。

未指定の文化的景観として把握している日光例幣使道沿いの町並み、渡良瀬遊水地の葦焼きは本市を代表する景観です。

(6)伝統的建造物群

栃木県唯一の栃木市嘉右衛門町重要伝統的建造物群保存地区があります。江戸時代から昭和前期に建てられた建造物が残り、特定物件として建築物 105 件、工作物 36 件、環境物件5件を有します。



嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区

(7)文化財の保存技術

指定等の文化財の保存技術はありません。

未指定の文化財の保存技術は、過去に存在した技術を含めて、尺八作り、神輿師、太鼓作り、車大工の4件を把握しています。

(8)埋蔵文化財

旧石器時代から近代まで全部で 1,026 件あります。

古墳時代につくられた古墳が最も多くあり、次に奈良・平安時代の埋蔵文化財包蔵地が多くあります。

都賀地域にある^{あたごづか}愛宕塚古墳は推定全長が 90mとされ、本市の吾妻古墳に次ぐ大型の古墳が存在していた可能性があります。

岩舟地域にある^{みかもさんろくかまあとぐん}三轟山麓窯跡群、藤岡地域にある大前製鉄遺跡群は奈良・平安時代の埋蔵文化財包蔵地で、生産された瓦や鉄は古代寺院や古代役所に供給されていたと考えられ、下野国府と密接な関係があったと考えられます。

(9)その他の文化財(史話・伝承、地名)

栃木地域の「うずまのナマズ」、大平地域の「大中寺の七不思議」、西方地域の^{おびくに}「八百比丘尼伝説」、岩舟地域の^{てあらいくぼ}「手洗窪と円仁誕生伝説」など各地域に残る伝承で、市民にとって馴染みのあるものから、広く知られていないものまで 106 件を把握しています。

また、国府地区周辺に下野国府があった時から続く^{ふるごう}「古国府」、^{そうじゃしきち}「惣社敷地」などの地名が残っています。